

## 合同会社MIUCHI <sup>ミウチ</sup> 金田 千依さん

2020年志太ビジネスプラングランプリで準グランプリを獲得。大きな病院で助産師として勤務していたが、初めての出産、育児に身体も心も追い込まれてしまっているお母さんたちを目の当たりにして、自分があげられることは何かを模索するように。授乳支援に関する国際資格「国際認定ラクテーションコンサルタント」を取得し、もっと近くでお母さんたちの悩みに寄り添いたいと、2020年12月に会社を設立し、地域のかかりつけ助産師「藤枝授乳コンサルタントもぐもぐ」として活動している。



病院勤務では味わえなかった、  
ずっと赤ちゃんの成長を見守るとのこと…  
困っているお母さんに寄り添う地域の助産師さん

### 起業までの道のり

看護師、助産師としてずっと病院で働いてきました。大きな病院は知名度があり集客も宣伝も必要ありません。起業したいと思いつつそういう環境で働いていたため、一体何から始めればいいのか全く分かりませんでした。働きながら起業の準備をしたくて「ふじえだ女性ビジネスアカデミー（以下アカデミー）」を受講しました。

病院では妊娠～出産、産後までをみますが、幸せそうな印象の産科でも、実際にはお母さんは出産で身体にダメージを負いながらすぐに育児が始まります。授乳も本能的にできるものではなく技術が必要で、うまくできずに追い込まれていきます。赤ちゃんには1か月健診が終わればもう関わらず、ずっと寄り添っていけ

たらいいのにと感じていました。授乳支援は学校で学ぶ機会も少なく、助産師としてどうやっていけばいいか悩みました。職場の先輩などに聞くといろいろな考え方があり何を信じていいのかわかりません。自分がこれだけ悩むのだから、お母さんたちは相当悩んでいるでしょう。だからこそしっかり根拠のある知識でお母さんたちを楽にしてあげたかったのです。そこで「国際認定ラクテーションコンサルタント」という授乳支援に関する国際資格を取りました。指導を受けるだけではお母さんたちは楽にならない、お母さん自身が考えて育児をしていくことが大事だと学びました。そして2020年12月に会社を設立し『藤枝授乳コンサルタントもぐもぐ』として活動を始めました。

### 起業で大変だったこと

ずっと医療職だったのでビジネスに関しての知識がほぼなく、苦しんでいるお母さんを助けたいという想いはありますが、どこから手を付けていいか全くわかりません。自分の考えていることが本当に商売として成り立つのか？ そういう中で疑問や課題を解決しようとアカデミーに参加したところ、めちゃくちゃ解決しました！ここまでできると思っていませんでしたが、「志太ビジネスプラングランプリ」にも出てちゃんと開業もできました。考える作業は大変でしたが、プランをまとめる経験をしたので、その後の融資相談のハードルが下がった



～株式会社工務店(高岡2丁目)にて定期子育てサロン「にこにこ」を開催中～

し、初めての人に自分の事業を説明するときにも人前で発表した経験がとても役に立ちました。

## 起業してよかったこと

アカデミーでは初めに自分の強みを書くよう言われましたが全く書けませんでした。自分は確かに資格を持っているけれど、何かがすぐできるわけでもありません。他者との差別化や自分の強みが分かりませんでした。でも授乳支援、親支援について資格を取ったことをすごいことだと褒めてもらい、これが強みになるんだと分かりました。その方向でやればいいんだと自信になり、そこから前へ進むことができました。病院勤務ではやりたいと思ったことを実現するのに時間がかかります。起業したらやりたいと思ったらすぐ試せるし、生後1か月を過ぎてもずっと一緒に子どもの成長を見させてもらえます。自由な働き方ができ、想いを実現できたのがとてもよかったです。

コロナ禍でお母さんたちはどこにも出かけられず、他の人の育児を見る機会もありません。健診や赤ちゃん訪問などの行政支援はありますが、そこでは専門職からアドバイスや注意を受けるだけで、自分の育児はこれなのかと不安を抱えている人がとても多いです。会って話して、できていることを認めて、ちょっと心が軽くなるようなアドバイスができた時には、お母さんの表情がすごく柔らかくなります。育児が楽しくなったとか、思い悩んでいたけれど楽になったという言葉が聞けると感動します。

## 今後の夢や目標

今は助手として大学院に通っている日もあるので最初のプラン通りには進んでいませんが、今後は自分の事業にもっと力を入れていきたいです。お母さんたちは以前と違い一切集まれなくなり、より孤立して、抱えている課題はもっと深刻になっています。今は個人相談を充実させ、将来的には様々な育児関係の専門家が集まった産後ケア施設のようなものが作れるといいなと思っています。あれこれ探し回らなくてもそこに行けばワンストップですべて解決される場所。看護や助産の学生や病院で働いている助産師も来たりして、産後のお



母さんが何を悩んでいるのかを知ることで、戻って個々の病院でのケアにも活かせるし学生にもいい経験になります。私のように働きながら資格を取る助産師は多いけれど、組織の中ではなかなか力を発揮できません。だから、そういう場所でワークショップをやったり、自分の強みを試したりできると面白いと思います。また個人相談だけでは地域やお母さん同士のコミュニティはできにくいので、個人支援にプラスして地域でのサポートが必要だと思います。月に1回、専門的な立場から育児情報を提供したり、助産師仲間が講師になってイベントを行うなど継続して支援するプログラムのようなものを考えていきたいです。

## エフドアをこれから利用する人に

エフドアがなかったら開業できませんでした。相談には何度も通い、次の課題はこれ、次はこれと一歩ずつ前に進ませてくれたのでありがたかったです。「ビジネス」というとすごく敷居が高いけれど、勇気を出して一歩踏み出してみたら支えてくれる人がたくさんいました。全てが新鮮で、アカデミーではいろいろな職業の人と知り合えました。みんな自分のことは気づかないのかも知れない…それを気づかせてくれました。第三者に話を聞いてもらうことも大事だと思います。

### 合同会社MIUCHI

☎ 050-5896-1216

HP <https://www.fujieda-mogumogu.com/>

📱 インスタ [fujieda\\_mogumogu](#)